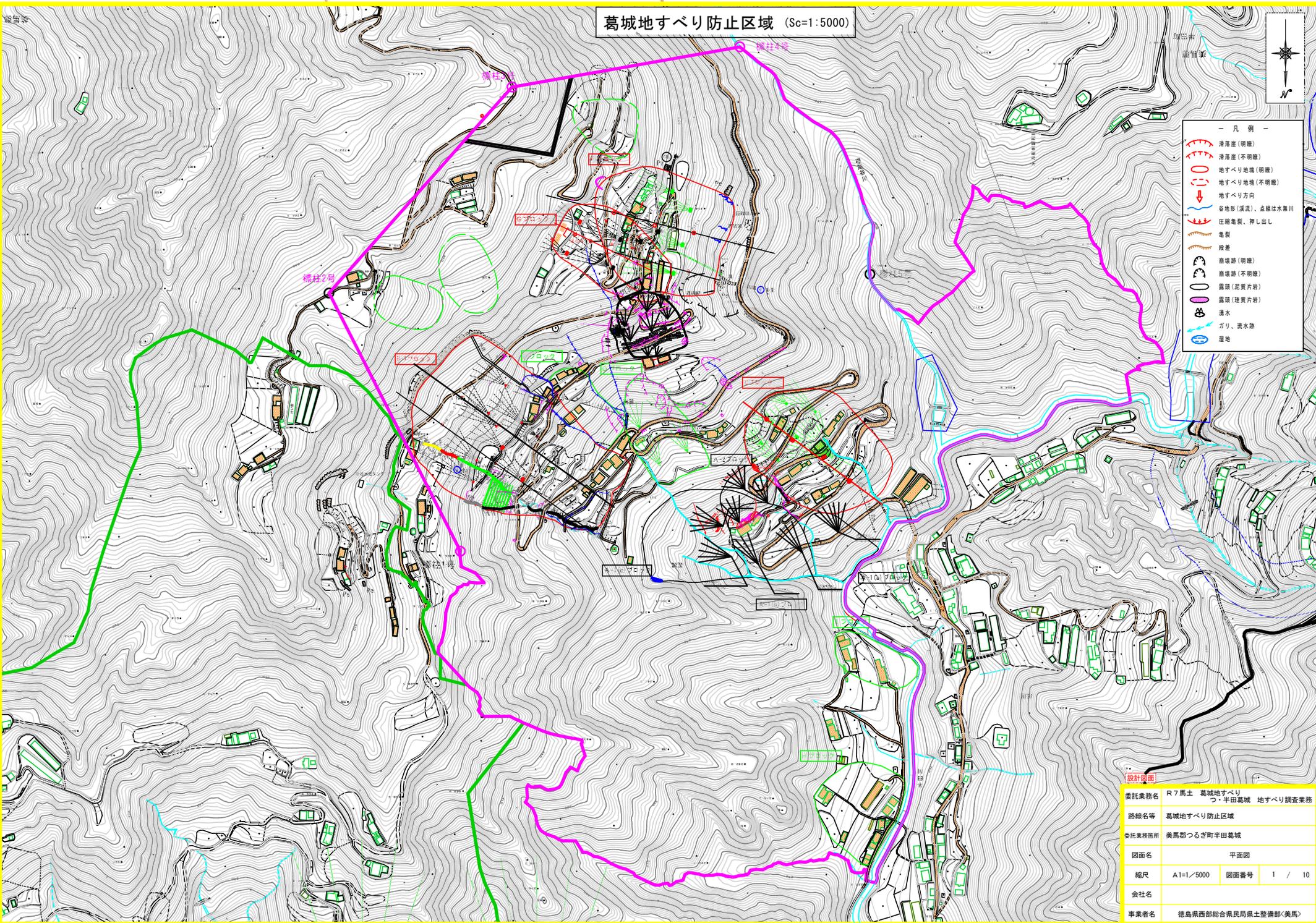


葛城地すべり防止区域 (Sc=1:5000)

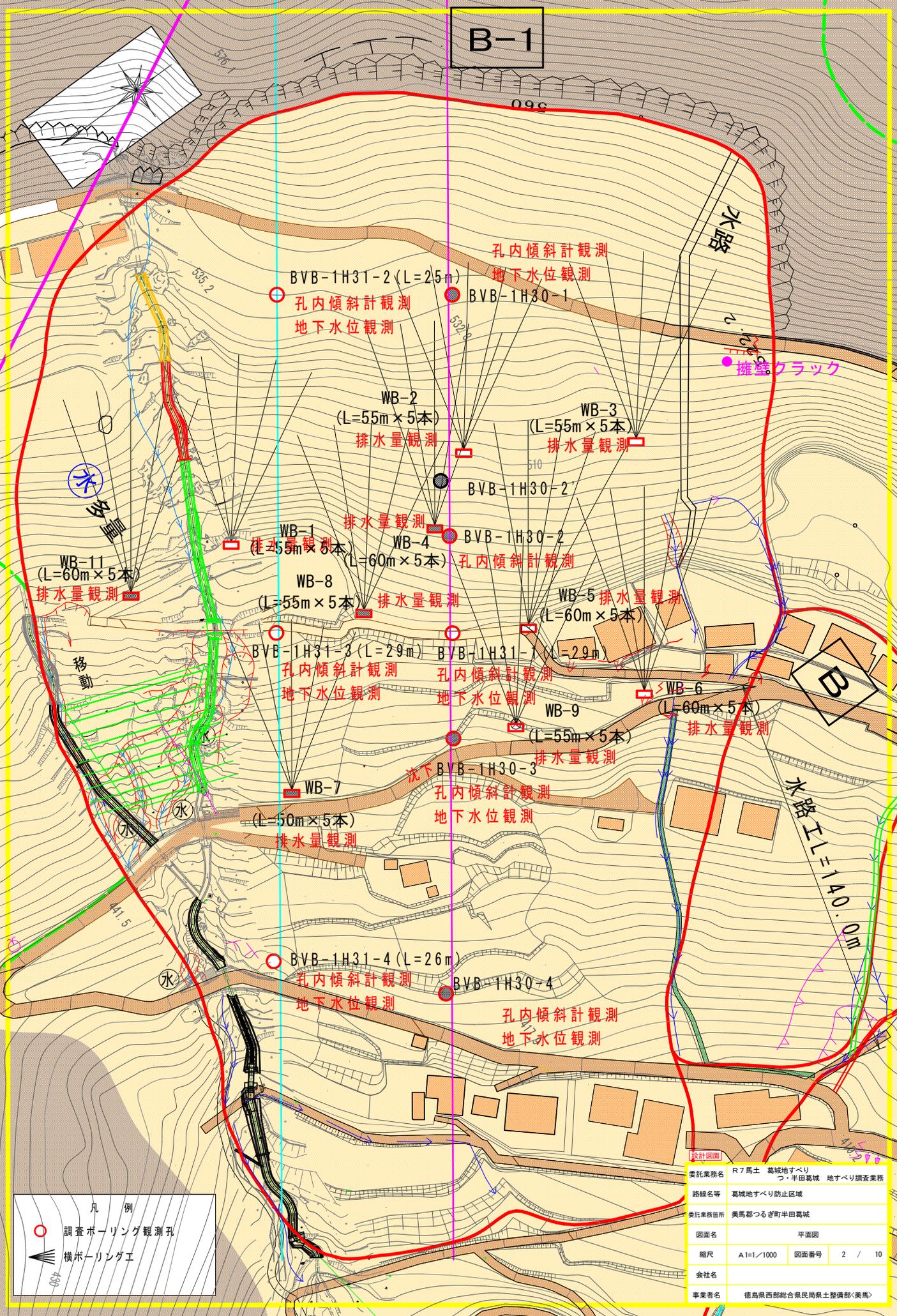


- 凡例 —
- 湧落崖 (明確)
  - 湧落崖 (不明瞭)
  - 地すべり地塊 (明確)
  - 地すべり地塊 (不明瞭)
  - 地すべり方向
  - 谷地形 (深溝)、点線は水無川
  - 圧縮亀裂、押し出し
  - 亀裂
  - 段差
  - 崩壊跡 (明確)
  - 崩壊跡 (不明瞭)
  - 露頭 (泥質片岩)
  - 露頭 (珪質片岩)
  - 湧水
  - ガリ、流水跡
  - 湿地

設計2面

委託業務名	R7馬土 葛城地すべり つ、半田葛城 地すべり調査業務		
路線名等	葛城地すべり防止区域		
委託業務箇所	美馬郡つるぎ町半田葛城		
図面名	平面図		
縮尺	A1=1/5000	図面番号	1 / 10
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局県土整備部<美馬>		

B-1



孔内傾斜計観測  
地下水位観測

BVB-1H31-2 (L=25m)

孔内傾斜計観測  
地下水位観測

BVB-1H30-1

WB-2 (L=55m×5本) 排水量観測

WB-3 (L=55m×5本) 排水量観測

BVB-1H30-2

WB-1 (L=55m×5本) 排水量観測

WB-4 (L=60m×5本) 排水量観測

BVB-1H30-2 孔内傾斜計観測

WB-8 (L=55m×5本) 排水量観測

WB-5 (L=60m×5本) 排水量観測

BVB-1H31-3 (L=29m) 孔内傾斜計観測

BVB-1H31-1 (L=29m) 孔内傾斜計観測

WB-6 (L=60m×5本) 排水量観測

WB-9 (L=55m×5本) 排水量観測

WB-7 (L=50m×5本) 排水量観測

水下 BVB-1H30-3 孔内傾斜計観測

地下水位観測

BVB-1H31-4 (L=26m) 孔内傾斜計観測

BVB-1H30-4 孔内傾斜計観測

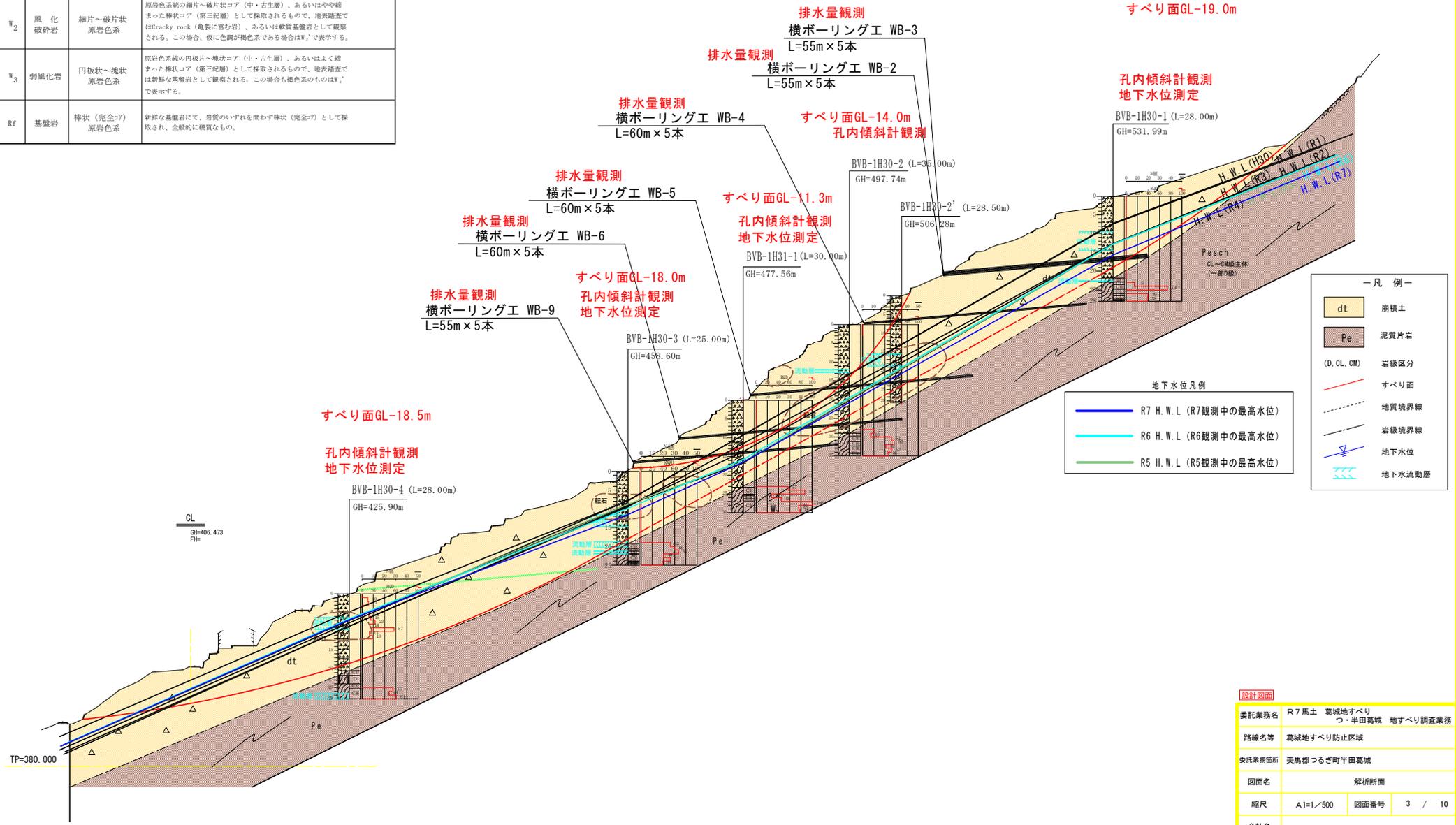
地下水位観測

地すべり地質の区分 (標準明細による)

区分	名称	ボーリングコアの形状・色調	構成地質および性状
dt	崩積土	土砂状 褐色系	いわゆる広義の崩積土にて、微細シリローム、微細シリ粘土、および硬質粘土・塊状粘土などの褐色部、色調は褐色を主色調とする。旧期の崩積土はDt、岩盤中における粘土状の擾乱部はDc、細片～破片状の擾乱部はDr (Disturbed rock) で表示する。
W <sub>1</sub>	強風化岩	土砂状 原岩色系	原岩系系統の粘土・硬質粘土ならびにシルト、および未固結の砂状を呈するもので、粘性土類については「岩組織」を残存し、砂質土の場合は同一の構成土質であることを原則とする。この場合、仮に色調が褐色系である場合はW <sub>1</sub> で表示する。
W <sub>2</sub>	風化破砕岩	細片～破片状 原岩色系	原岩系系統の細片～破片状コア (中・古生層)、あるいはやや締まった塊状コア (第三紀層) として採取されるもので、地表踏査ではCracky rock (亀裂に富む岩)、あるいは軟質基盤岩として観察される。この場合、仮に色調が褐色系である場合はW <sub>2</sub> で表示する。
W <sub>3</sub>	弱風化岩	円板状～塊状 原岩色系	原岩系系統の円板状～塊状コア (中・古生層)、あるいはよく締まった塊状コア (第三紀層) として採取されるもので、地表踏査では新鮮な基盤岩として観察される。この場合も褐色系の場合はW <sub>3</sub> で表示する。
Rf	基盤岩	棒状 (完全?) 原岩色系	新鮮な基盤岩にて、岩質のいずれを問わず棒状 (完全?) として採取され、全般的に硬質なもの。

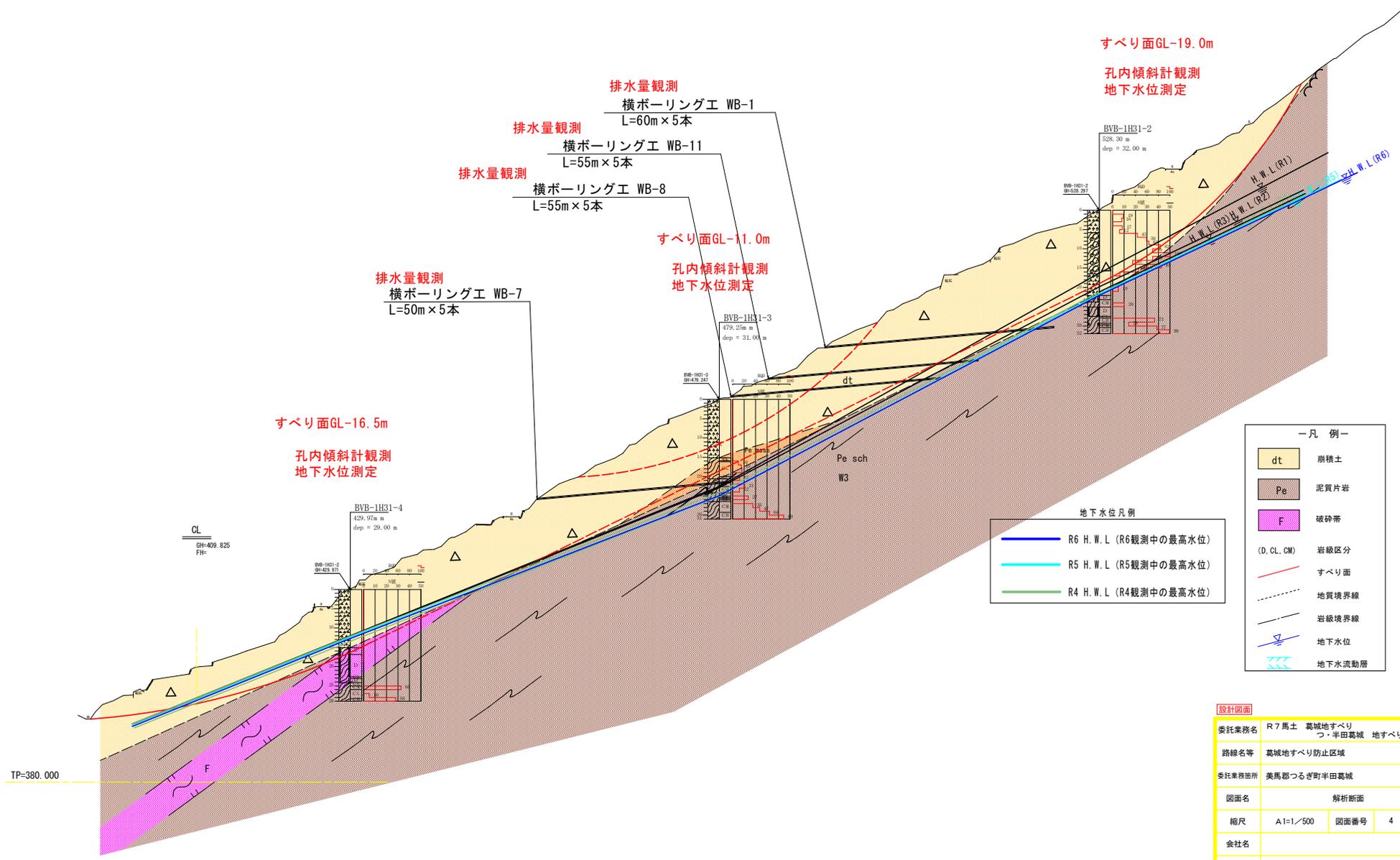
葛城地すべり B-1ブロック主測線断面図

Sc=1/500



設計図面	
委託業務名	R7馬土 葛城地すべり つ・半田葛城 地すべり調査業務
路線名等	葛城地すべり防止区域
委託業務箇所	美馬郡つるぎ町半田葛城
図面名	解析断面
縮尺	A1=1/500 図面番号 3 / 10
会社名	
事業者名	徳島県西部総合県民局県土整備部(美馬)

B-1ブロック副測線 S=1:500



—凡例—

dt	崩積土
Pe	泥質片岩
F	破碎帯
(D. CL. CM)	岩級区分
(Red dashed line)	すべり面
(Black dashed line)	地質境界線
(Black solid line)	岩級境界線
(Blue line with triangles)	地下水位
(Blue wavy line)	地下水流動層

地下水凡例

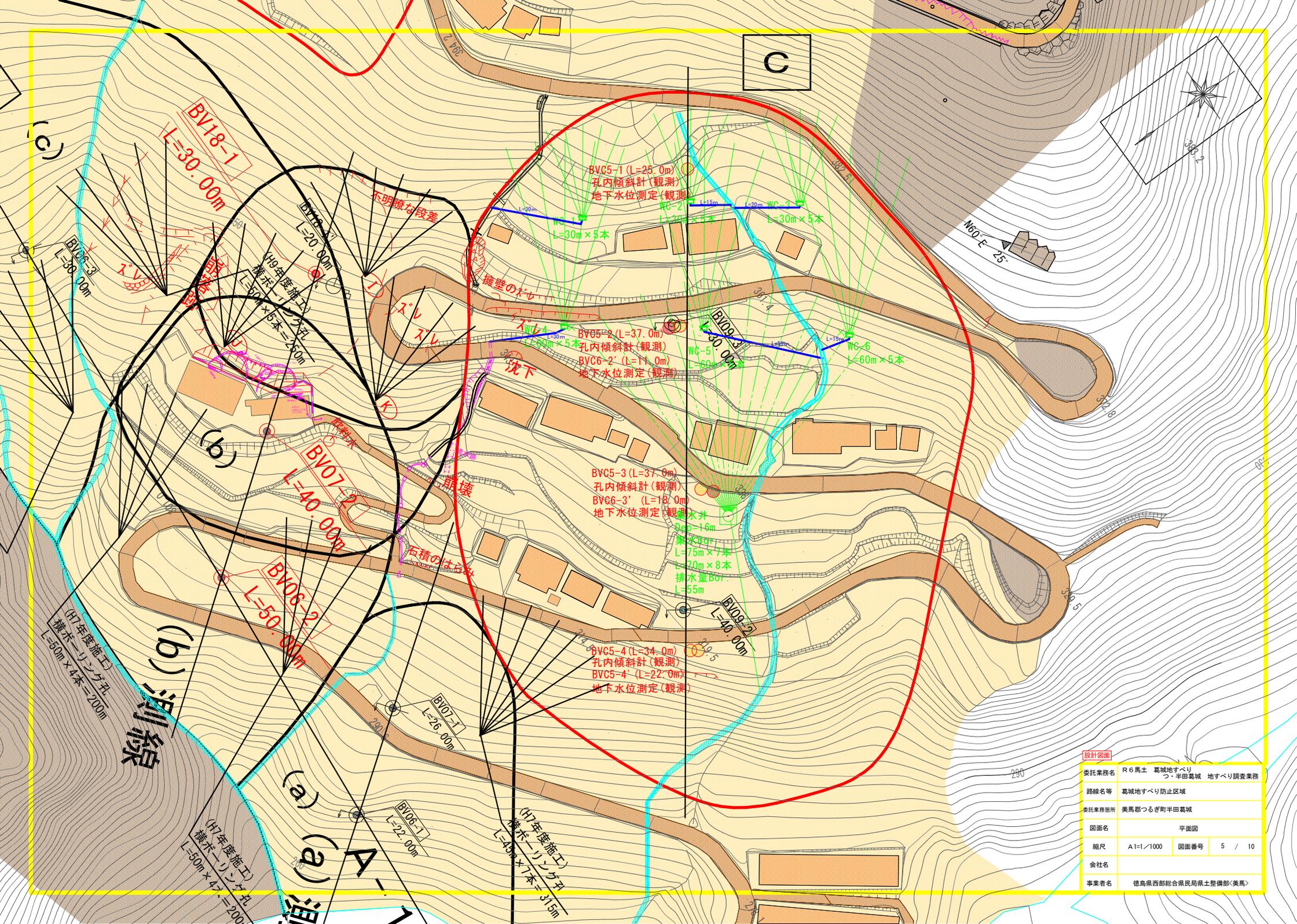
(Blue line)	R6 H. W. L (R6観測中の最高水位)
(Cyan line)	R5 H. W. L (R5観測中の最高水位)
(Green line)	R4 H. W. L (R4観測中の最高水位)

設計図面

委託業務名	R7馬土 葛城地すべり つ・半田葛城 地すべり調査業務		
路線名等	葛城地すべり防止区域		
委託業務箇所	美馬郡つるぎ町半田葛城		
図面名	解析断面		
縮尺	A1=1/500	図面番号	4 / 10
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局県土整備部<美馬>		

TP=380.000

CL  
GH=409.825  
FH=



C

(c)

BV18-1  
L=30.00m

BVC5-1 (L=28.0m)  
孔内傾斜計(観測)  
地下水位測定(観測)

BVC5-2 (L=37.0m)  
孔内傾斜計(観測)  
BVC6-2' (L=14.0m)  
地下水位測定(観測)

BVC5-3 (L=37.0m)  
孔内傾斜計(観測)  
BVC6-3' (L=18.0m)  
地下水位測定(観測)

BVC5-4 (L=34.0m)  
孔内傾斜計(観測)  
BVC5-4' (L=22.0m)  
地下水位測定(観測)

BVC5-3  
L=38.00m

(b)

BV07-2  
L=40.00m

BV06-2  
L=50.00m

(b) 測線

(17年度施工)  
擁壁-リング状  
L=50m x 4本 = 200m

(17年度施工)  
擁壁-リング状  
L=50m x 47 = 200m

(17年度施工)  
擁壁-リング状  
L=50m x 47 = 200m

(17年度施工)  
擁壁-リング状  
L=45m x 7本 = 315m

(17年度施工)  
擁壁-リング状  
L=45m x 7本 = 315m

(17年度施工)  
擁壁-リング状  
L=45m x 7本 = 315m

設計図面			
委託業務名	R6馬土 葛城地すべり つ・半田葛城 地すべり調査業務		
路線名等	葛城地すべり防止区域		
委託業務箇所	美馬郡つるぎ町半田葛城		
図面名	平面図		
縮尺	A1=1/1000	図面番号	5 / 10
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局県土整備部(美馬)		

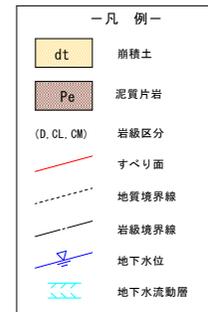
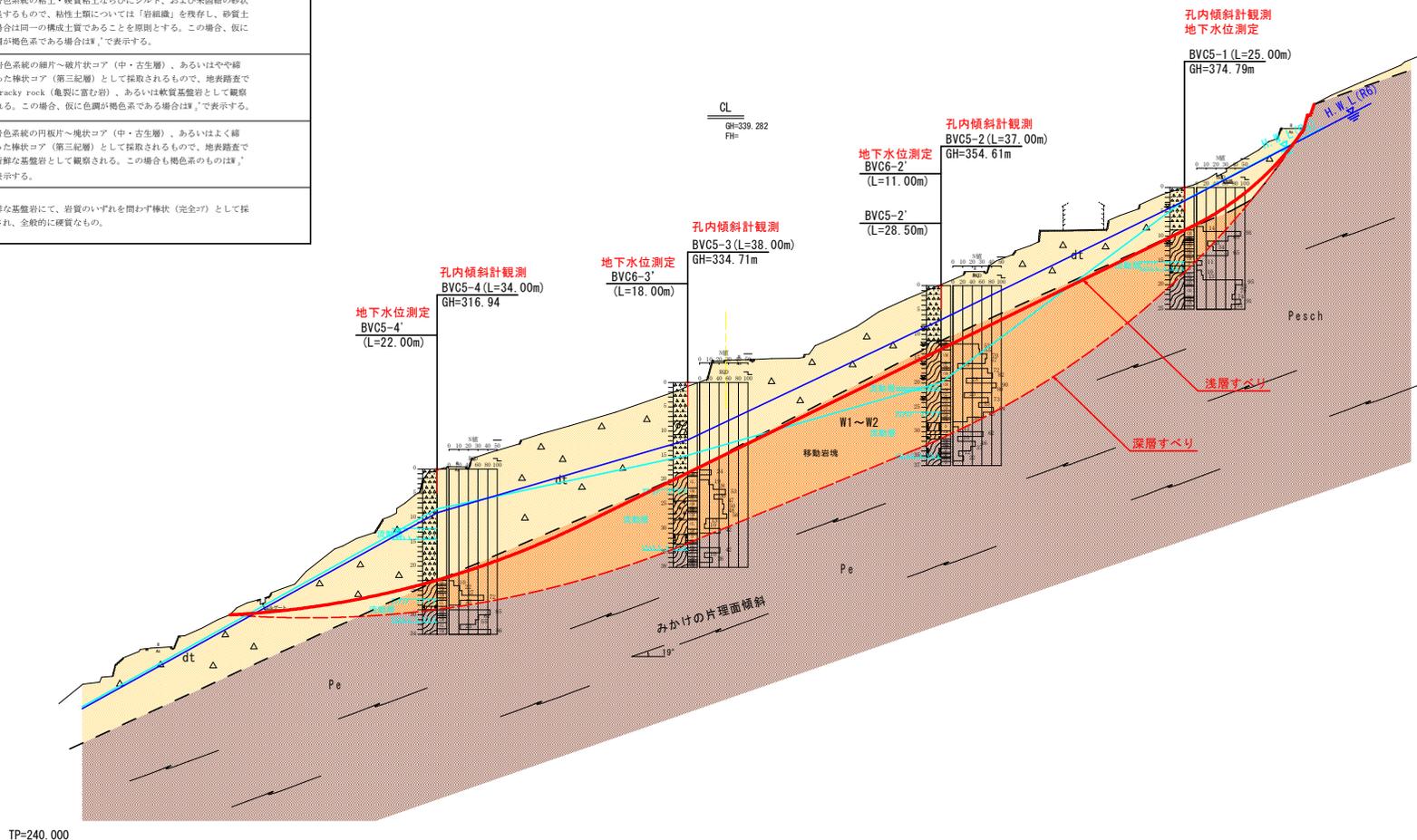


地すべり地質の区分 (標準明瞭による)

区分	名称	ボーリングコアの形状・色調	構成地質および性状
dt	崩積土	土砂状 褐色系	いわゆる広義の崩積土にて、礫混じりローム、礫混じり粘土、および硬質粘土・攪乱粘土などの褐色部、色調は褐色を主色調とする。旧期の崩積土はDt、岩盤中における粘土状の攪乱部はDc、細片～破片状の攪乱部はDr (Disturbed rock) で表示する。
W <sub>1</sub>	強風化岩	土砂状 原岩色系	原岩色系の粘土・硬質粘土ならびにシルト、および未固結の砂状を呈するもので、粘性土類については「岩組織」を残存し、砂質土の場合は同一の構成土質であることを原則とする。この場合、仮に色調が褐色系である場合はW <sub>1</sub> 'で表示する。
W <sub>2</sub>	風化破砕岩	細片～破片状 原岩色系	原岩色系の細片～破片状コア (中・古生層)、あるいはやや締まった棒状コア (第三紀層) として採取されるもので、地表踏査ではCracky rock (亀裂に富む岩)、あるいは軟質基盤岩として観察される。この場合、仮に色調が褐色系である場合はW <sub>2</sub> 'で表示する。
W <sub>3</sub>	弱風化岩	円板状～塊状 原岩色系	原岩色系の円板状～塊状コア (中・古生層)、あるいはよく締まった棒状コア (第三紀層) として採取されるもので、地表踏査では新鮮な基盤岩として観察される。この場合も褐色系の場合はW <sub>3</sub> 'で表示する。
Rf	基盤岩	棒状 (完全?) 原岩色系	新鮮な基盤岩にて、岩質のいずれを問わず棒状 (完全?) として採取され、全般的に硬質なもの。

横断図 S=1:500

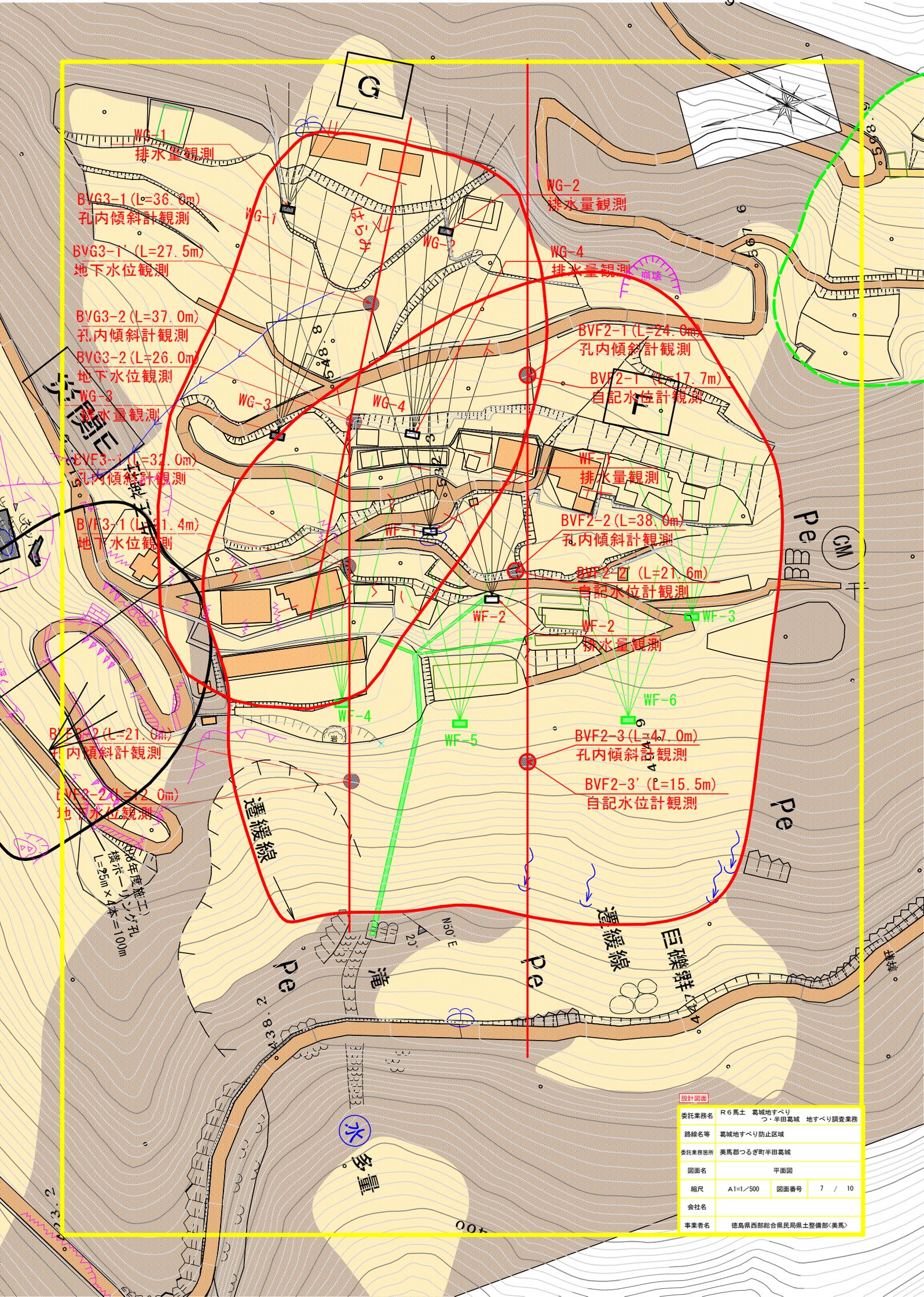
C-2ブロック断面図



TP=240.000

設計図面

委託業務名	R6馬土 葛城地すべり つ・半田葛城 地すべり調査業務		
路線名等	葛城地すべり防止区域		
委託業務箇所	美馬都つるぎ野半田葛城		
図面名	解析断面		
縮尺	A1=1/500	図面番号	6 / 10
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局県土整備部<美馬>		



WG-1  
排水量観測

BVG3-1 (L=36.0m)  
孔内傾斜計観測

BVG3-1' (L=27.5m)  
地下水位観測

BVG3-2 (L=37.0m)  
孔内傾斜計観測

BVG3-2 (L=26.0m)  
地下水位観測

WG-3  
排水量観測

BVG3-1 (L=37.0m)  
孔内傾斜計観測

BVG3-1 (L=41.4m)  
地下水位観測

WG-2  
排水量観測

WG-4  
排水量観測

BVF2-1 (L=24.0m)  
孔内傾斜計観測

BVF2-1 (L=17.7m)  
自記水位計観測

BVF2-2 (L=38.0m)  
孔内傾斜計観測

BVF2-2 (L=21.6m)  
自記水位計観測

BVF2-3 (L=47.0m)  
孔内傾斜計観測

BVF2-3' (L=15.5m)  
自記水位計観測

WF-1  
排水量観測

WF-2  
排水量観測

WF-2  
排水量観測

WF-3  
排水量観測

WF-6  
排水量観測

排水工  
1本 x 4本 = 100m  
L=25m

遷緩線

遷緩線

巨礫群

水  
多量

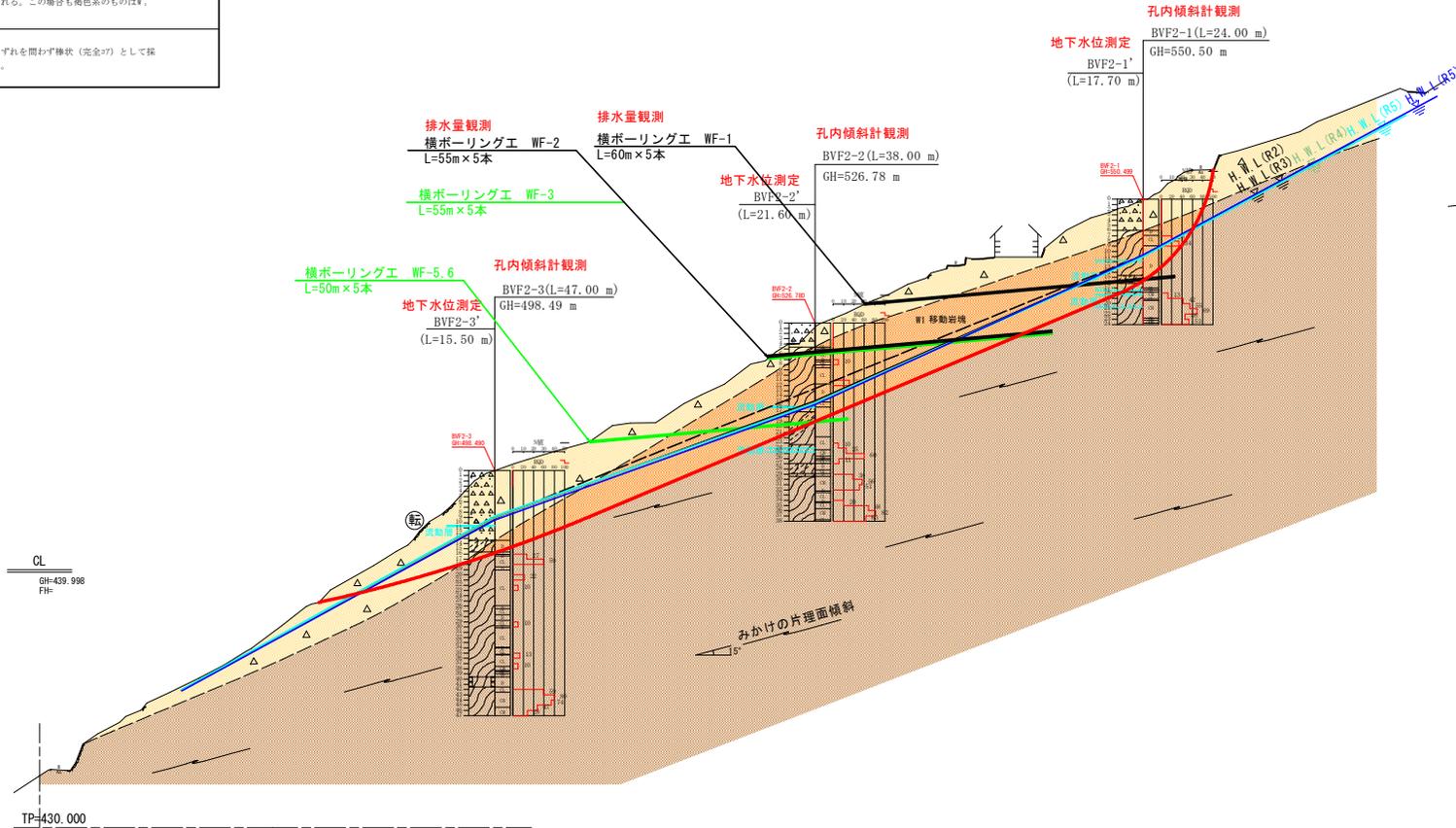
設計図面	
委託業務名	R6馬土 葛城地すべり つ・半田葛城 地すべり調査業務
路線名等	葛城地すべり防止区域
委託業務箇所	美馬郡つるぎ町半田葛城
図面名	平面図
縮尺	A1=1/500 図面番号 7 / 10
会社名	
事業者名	徳島県西部総合県民局県土整備部(美馬)

地すべり地質の区分 (調査明細による)

区分	名称	ボーリングコアの形状・色調	構成地質および性状
dt	崩積土	土砂状 褐色系	いわゆる広義の崩積土にて、礫混じりローム、礫混じり粘土、および硬質粘土・塊状粘土などの褐色系、色調は褐色を主色調とする。旧期の崩積土はDe、岩盤中における粘土状の塊状部はDe、細片～破片状の塊状部はDr (Disturbed rock) で表示する。
W <sub>1</sub>	強風化岩	土砂状 原岩色系	原岩系系統の粘土・硬質粘土ならびにシルト、および未固結の砂状を呈するもので、粘性土類については「岩組織」を残留し、砂質土の場合は同一の構成土質であることを原則とする。この場合、仮に色調が褐色系である場合はW <sub>1</sub> 'で表示する。
W <sub>2</sub>	風化 破碎岩	細片～破片状 原岩色系	原岩系系統の細片～破片状コア(中・古生層)、あるいはやや碎まった棒状コア(第三紀層)として採取されるもので、地表踏査ではCracky rock (亀裂に留意) 、あるいは軟質基盤岩として観察される。この場合、仮に色調が褐色系である場合はW <sub>2</sub> 'で表示する。
W <sub>3</sub>	弱風化岩	円板状～塊状 原岩色系	原岩系系統の円板状～塊状コア(中・古生層)、あるいはよく碎まった棒状コア(第三紀層)として採取されるもので、地表踏査では新鮮な基盤岩として観察される。この場合も褐色系の場合はW <sub>3</sub> 'で表示する。
Rf	基盤岩	棒状(完全?) 原岩色系	新鮮な基盤岩にて、岩質のいずれを問わず棒状(完全?)として採取され、全般的に硬質なもの。

横断図 S=1:500

Fブロック断面図(主測線)



— 凡例 —

dt	崩積土
Pe	泥質片岩
(D, CL, CM)	岩級区分
—	すべり面
- - -	地質境界線
- - -	岩級境界線
▽	地下水位
⇄	地下水流動層

地下水位凡例

—	R5 H. W. L (R5観測中の最高水位)
—	R4 H. W. L (R4観測中の最高水位)
—	R3 H. W. L (R3観測中の最高水位)

設計図面

委託業務名	R6馬土 葛城地すべり つ・半田葛城 地すべり調査業務		
路線名等	葛城地すべり防止区域		
委託業務箇所	美馬都つるぎ野半田葛城		
図面名	解析断面		
縮尺	A1=1/500	図面番号	8 / 10
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局県土整備部(美馬)		

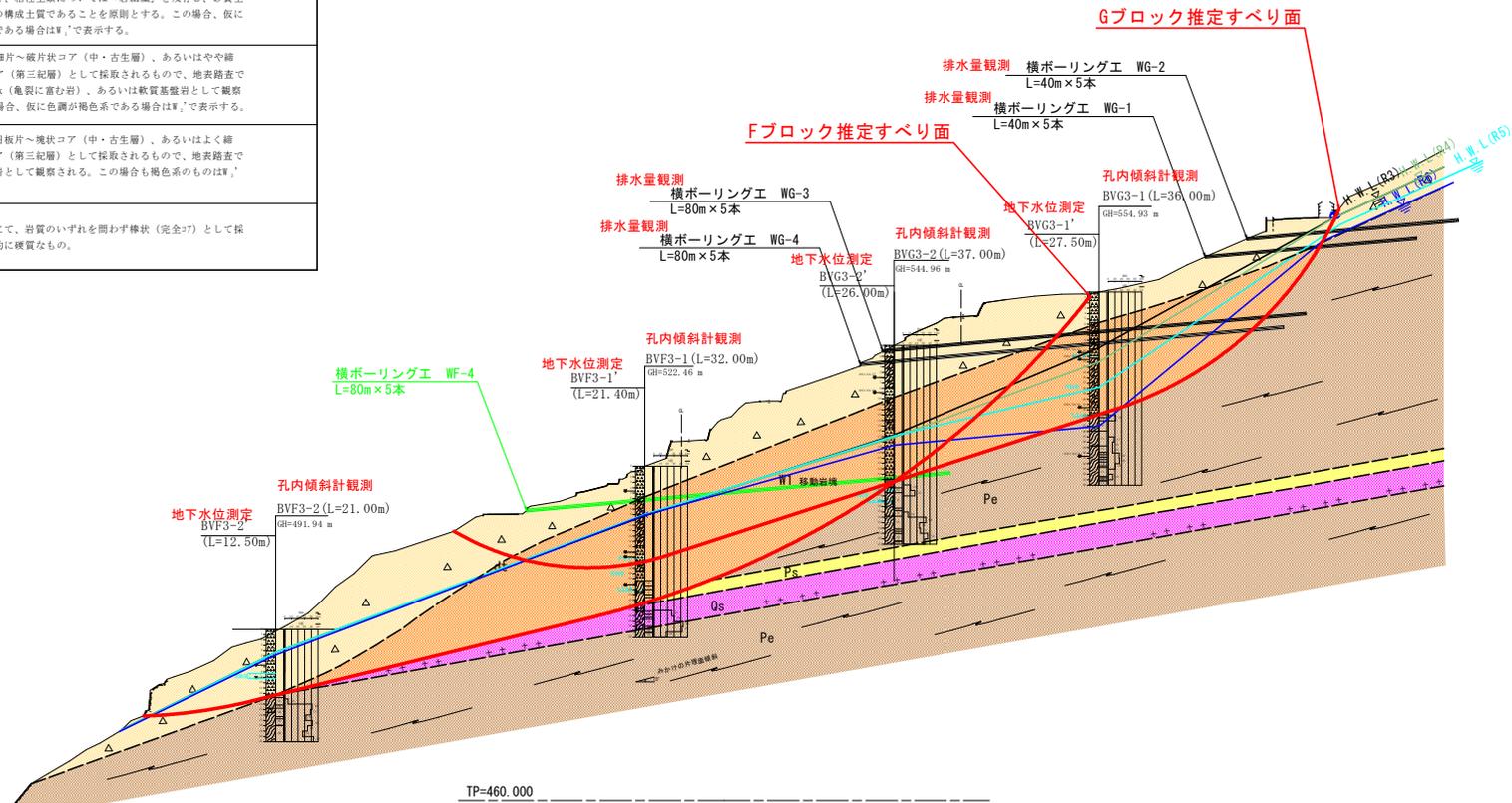
地すべり地質の区分

(標準明瞭による)

区分	名称	ボーリングコアの形状・色調	構成地質および性状
dt	崩積土	土砂状 褐色系	いわゆる広義の崩積土にて、礫混じりローム、礫混じり粘土、および硬質粘土・擾乱粘土などの褐色部、色調は褐色を主色調とする。巨期の崩積土はDt、岩盤中における粘土状の擾乱部はDe、細片～破片状の擾乱部はDr (Disturbed rock) で表示する。
W1	強風化岩	土砂状 原岩色系	原岩色系の粘土・硬質粘土ならびにシルト、および未固結の砂状を呈するもので、粘性土類については「岩組織」を残存し、砂質土の場合は同一の構成土質であることを原則とする。この場合、仮に色調が褐色系である場合はW1'で表示する。
W2	風化 破砕岩	細片～破片状 原岩色系	原岩色系の細片～破片状コア（中・古生層）、あるいはやや締まった棒状コア（第三紀層）として採取されるもので、地表踏査ではCracky rock (亀裂に富む岩)、あるいは軟質基盤岩として観察される。この場合、仮に色調が褐色系である場合はW2'で表示する。
W3	弱風化岩	円板状～塊状 原岩色系	原岩色系の円板状～塊状コア（中・古生層）、あるいはよく締まった棒状コア（第三紀層）として採取されるもので、地表踏査では新鮮な基盤岩として観察される。この場合も褐色系のものはW3'で表示する。
Rf	基盤岩	棒状（完全コア） 原岩色系	新鮮な基盤岩にて、岩質のいずれかを問わず棒状（完全コア）として採取され、全般的に硬質なもの。

横断図 S=1:500

Fブロック断面図(副測線)



— 凡 例 —

dt	崩積土
Pe	泥質片岩
Ps	砂質片岩
Qs	泥質片岩
(D, CL, CM)	岩線区分
—	すべり面
---	地質境界線
---	岩級境界線
—	地下水位
—	地下水流動層

地下水位凡例

—	R6 H. W. L (R6観測中の最高水位)
—	R5 H. W. L (R5観測中の最高水位)
—	R4 H. W. L (R4観測中の最高水位)

設計図面

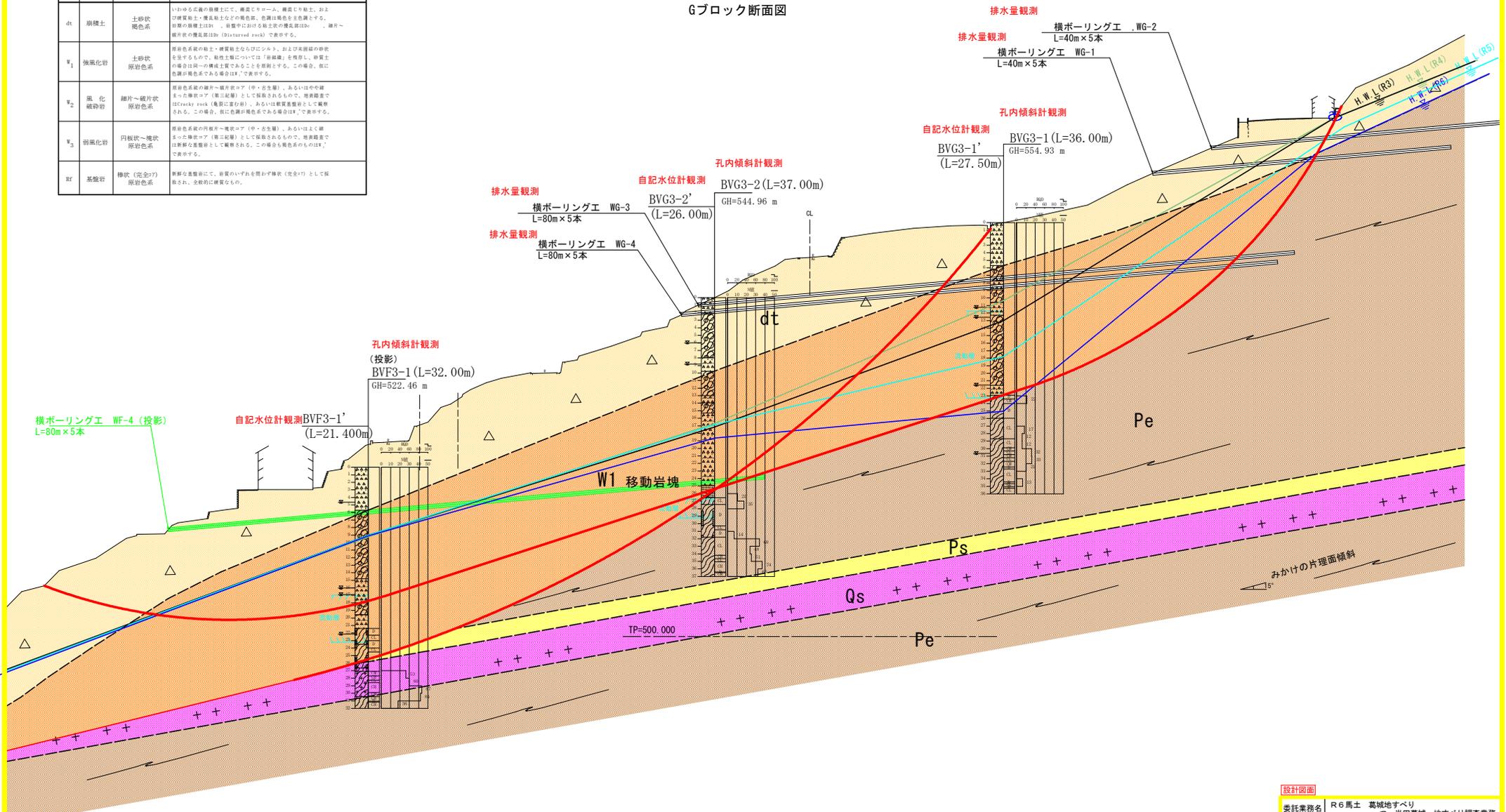
委託業務名	R6馬土 葛城地すべり つ・半田葛城 地すべり調査業務		
路線名等	葛城地すべり防止区域		
委託業務箇所	美馬郡つぎ野半田葛城		
図面名	解析断面		
縮尺	A1=1/500	図面番号	9 / 10
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局県土整備部<美馬>		

地すべり地質の区分 (標準地質による)

区分	名称	ボーリングコアの形状・色調	構成地質および性状
dt	崩積土	土砂状 褐色系	比較的広範囲の崩積土にて、崩積じりローム、崩積じり粘土、および崩積粘土・崩積粘土との層状。色調は褐色系を呈する。崩積の崩積土は、崩積中における崩積土の擾乱度(BD)・崩積～崩積状の擾乱度(BD) (Disturbed rock) で表示する。
V <sub>1</sub>	強風化岩	土砂状 原岩色系	原岩系崩解の崩積土・崩積粘土ならびにシルト、および崩解の砂状を呈するもので、粘性土層については「弱風化」を残留し、砂質土の場合は同一の構成土質であることを原則とする。この場合、仮に色調が褐色系である場合は「 $V_1$ 」で表示する。
V <sub>2</sub>	風化 硬砂岩	細片～破片状 原岩色系	原岩系崩解の細片～破片状コア(中・小骨層)、あるいはやや硬まった崩状コア(第三紀層)として採取されるもので、地質調査ではFractured rock (亀裂に富み層)、あるいは軟質基盤層として観察される。この場合、仮に色調が褐色系である場合は「 $V_2$ 」で表示する。
V <sub>3</sub>	弱風化岩	固板状～塊状 原岩色系	原岩系崩解の固板状～塊状コア(中・大骨層)、あるいはよく硬まった崩状コア(第三紀層)として採取されるもので、地質調査では新鮮な基盤層として観察される。この場合も褐色系の場合は「 $V_3$ 」で表示する。
Rt	基盤岩	塊状(完全) 原岩色系	新鮮な基盤層にて、崩解のいずれを認めず塊状(完全?)として採取され、全般的に観察される。

横断図 S=1:500

Gブロック断面図



地下水位凡例

<span style="color: blue;">—</span>	R6 H.W.L. (R6観測中の最高水位)
<span style="color: cyan;">—</span>	R5 H.W.L. (R5観測中の最高水位)
<span style="color: green;">—</span>	R4 H.W.L. (R4観測中の最高水位)

設計図面

委託業務名	R6馬土 葛城地すべり つ・半田葛城 地すべり調査業務		
路線名等	葛城地すべり防止区域		
委託業務箇所	美馬郡つぎ野半田葛城		
図面名	解析断面		
縮尺	A1=1/500	図面番号	10 / 10
会社名			
事業者名	徳島県西部総合県民局県土整備部(美馬)		